

野岸小だより



小諸市立野岸小学校NO. 11
令和4年2月4日 発行
校長 丸山 穰

立春を迎えましたが、まだまだ寒さが続きそうです。新型コロナの勢いもまだ心配なレベルです。近隣の小中学校でも、休校や学級閉鎖が行われています。感染防止対策を講じつつも、学びを止めないことを考えながら、準備をしなければと考えています。

3学期始業式 1/7

学期末に、新学期や新年の目標を持ってほしいと子どもたちにお話ししましたが、目標について、「三人のレンガ職人」のお話をしました。

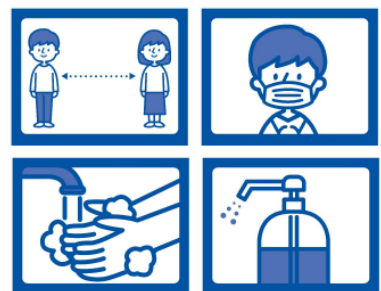
旅人が、働いている3人のレンガ職人に「何をしていますか?」と尋ねます。一人目は、「親方に言われて毎日レンガを積んでるんだよ。全く大変だよ。」と応えます。二人目は、「大切な家族を養うために頑張っているんだ。」と応えました。三人目は、「世界に誇る素晴らしい大聖堂を建てているんだよ。ここでたくさんの人が祝福を受け、悲しみをはらうんだ。」と応えました。



目標に向かって頑張るときに、目指す先を、自分はもちろん、他の人が喜ぶことにも目を向けられるようなら、きっとはりきって楽しくできるのではないのでしょうか。そんな頑張り方で、「頑張っよかったな。」と思える体験につなげてほしいと思っています。

新型コロナ感染予防対策について

1月28日に、長野県もまん延防止法の適応となり、県内レベルも6となりました。市教委や学校からもご協力をお願いを配布いたしました。オミクロン株では、デルタ株とは違った対応も求められています。学校現場では、今までの感染防止対策を粛々としています。学校行事や体調管理等、ご家庭の皆さんには多くのご迷惑をおかけしてしまいますが、ご理解・ご協力をよろしく願いいたします。



管楽部 文部科学大臣賞 受賞

昨年末に行われた東日本優秀演奏発表会で最優秀賞をいただき、そのときの録音審査で、全国の中の最高賞である文部科学大臣賞をいただくことができました。意欲的に練習に励んだ子どもたち、ご指導いただいた早川先生、浅野先生、応援していただいた保護者の皆様、地域の方々や学校の仲間たち、多くの方々の力が結集しての受賞だと思っています。まさに「頑張っよかった体験」の素晴らしい見本が、こんなに近くにあります。子どもたちも頑張るよさを感じて、日々の学校生活を送ってくれるのではないかと考えています。応援、本当にありがとうございました。

